



未決拘禁者の処遇等 に関する法整備





法整備の必要性

- 現行監獄法は，明治41年に制定
➡ 今日では極めて不十分な内容

- 法制審議会（昭和55年）
「監獄法改正の骨子となる要綱」
- 刑事施設法案の提出



資料1



法整備の必要性

資料2

平成15年12月

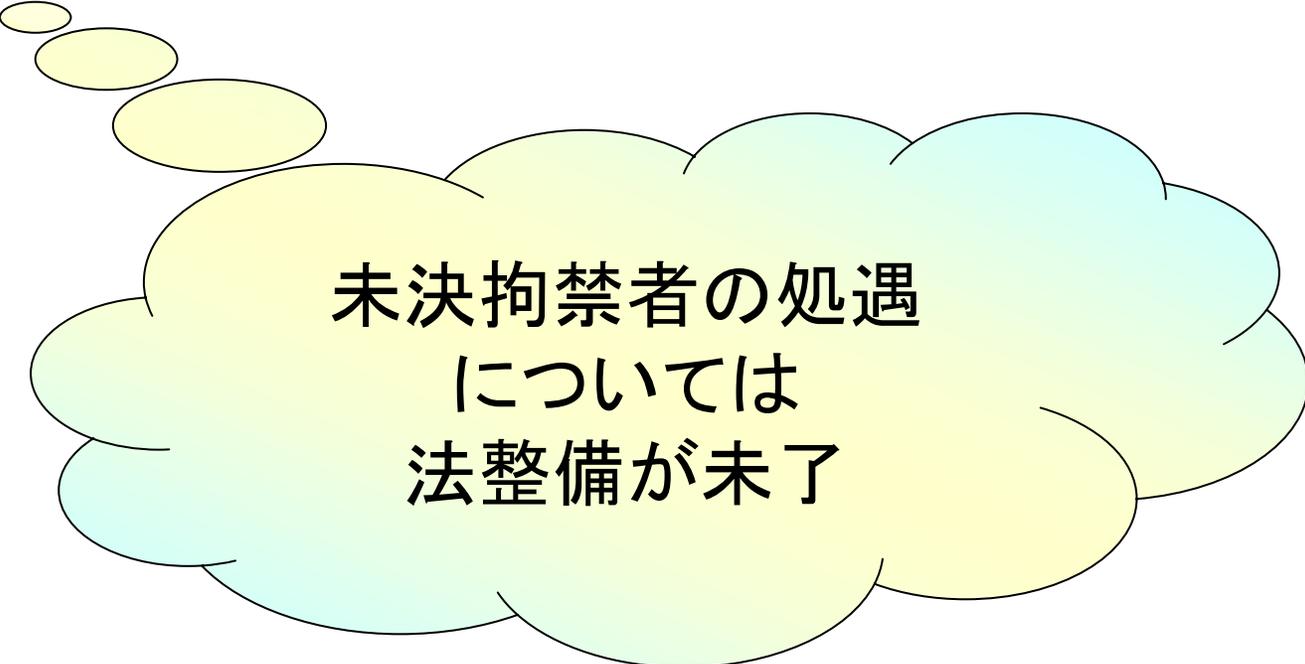
行刑改革会議提言

可及的速やかに
監獄法の全面的改正を
行う必要がある



刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律

- 平成17年5月成立
- 受刑者の処遇を中心とするもの



未決拘禁者の処遇
については
法整備が未了



主要な法改正事項

- **未決拘禁者等の権利義務と職員の権限の明確化**
 - 宗教
 - 書籍等の閲覧
 - 戒具(身体を拘束する器具)
 - 保護室収容(自傷他害等の防止のための特殊な居室への収容)
 - 懲罰の要件
 - 懲罰を科する手続

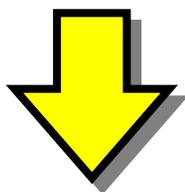
主要な法改正事項

書籍等の閲覧

現行法

「被收容者文書図画ノ閲読ヲ請フトキハ之ヲ許ス」

➡ 制限は，省令・訓令・通達で定められている



書籍等の閲覧を権利として保障
その内容による制限要件を法律に規定

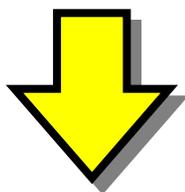
主要な法改正事項

外部交通の保障・拡充

現行法

「被収容者ニ接見センコトヲ請フ者アルトキハ之ヲ許ス」

➡ 発言内容などによる制限は，運用に委ねている



発言内容等による制限要件を法律に規定
弁護士接見の制限に例外を設ける

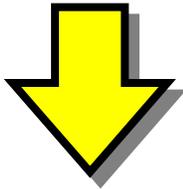


主要な法改正事項

不服申立て制度の整備

現行法

➡ 請願の一種である**情願**のみ



審査の申請及び再審査の申請
事実の申告
苦情の申出



法整備の必要性

未決拘禁者

受刑者

不均衡



主要な課題

代用監獄制度の在り方

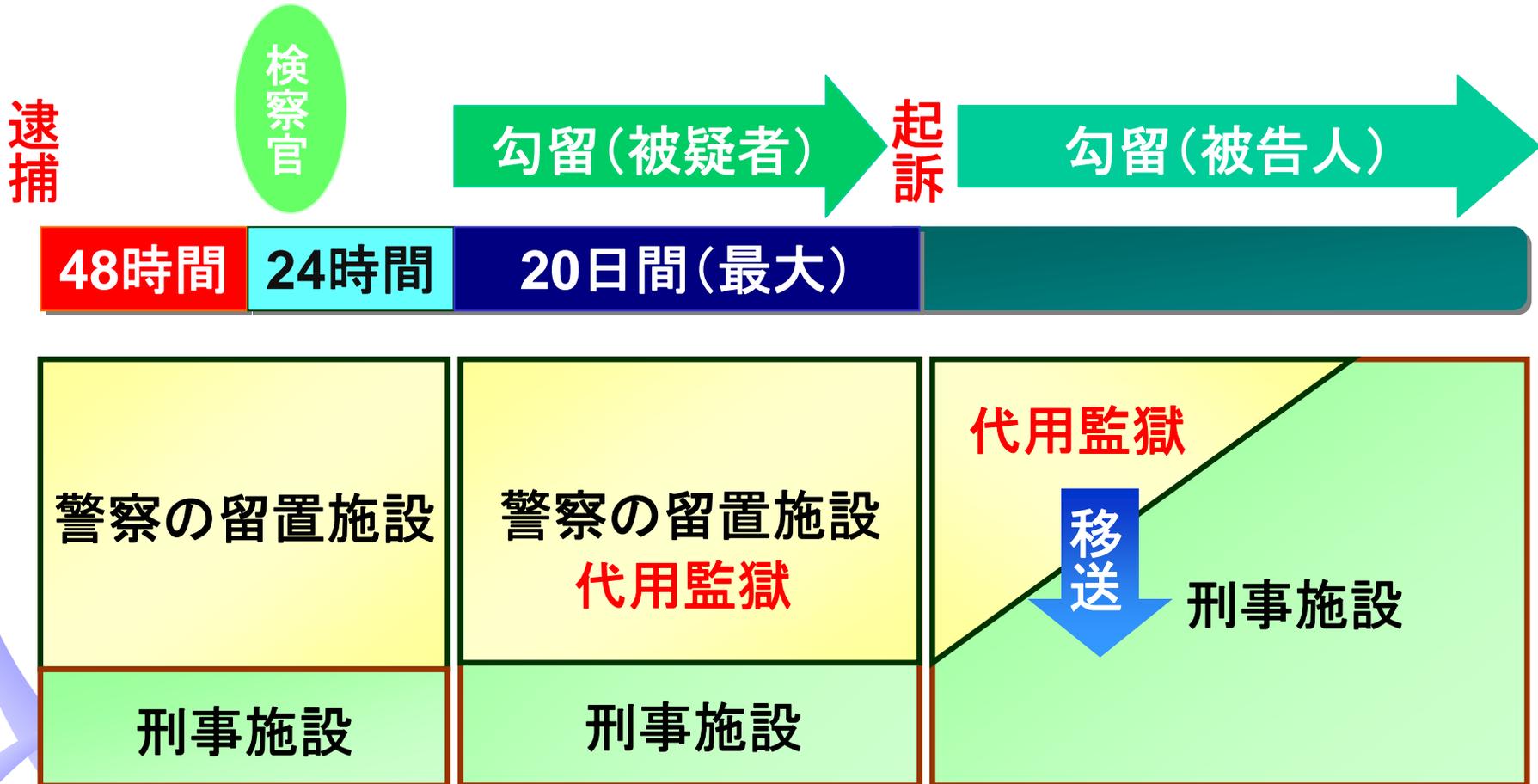
外部交通の在り方



代用監獄制度の在り方

「警察官署ニ附属スル留置場ハ之ヲ監獄ニ
代用スルコトヲ得」 （監獄法1条3項）

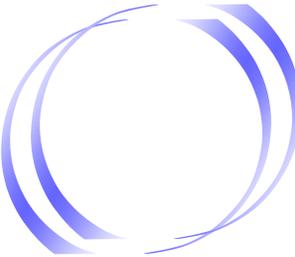
身柄拘束の流れ(概略)



代用監獄制度の在り方

「警察官署ニ附属スル留置場ハ之ヲ監獄ニ
代用スルコトヲ得」 （監獄法1条3項）

- 法律の適用関係があいまい
 - ➡ 刑事施設における処遇との間に
不均衡を生ずるおそれ
- 自白強要や冤罪の温床との批判もあり



代用監獄制度の在り方

法制審議会の答申 108

制度的改善を加えた上で、**存続**すること

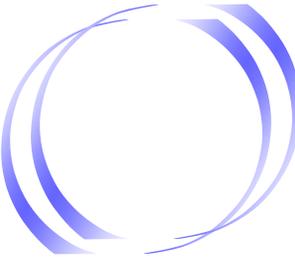
制度的改善

- 受刑者・死刑確定者を収容対象から除外
- 代用監獄に適用される規定の整備
- 法務大臣による求通報と意見陳述

代用監獄制度の在り方

存続の理由

- 代用監獄に代わる拘置所を新增設することは、現実問題として困難
- 警察による被疑者の取調べを含む捜査を迅速適正に行うのに役立っている
- 被勾留者、その家族、弁護人などの関係者の利益にも資するところが少なくない



未決拘禁施設の数



刑事施設 154

警察留置場 1286

稚内



中頓別



天塩



名寄



紋別



留萌



深川



旭川



富良野



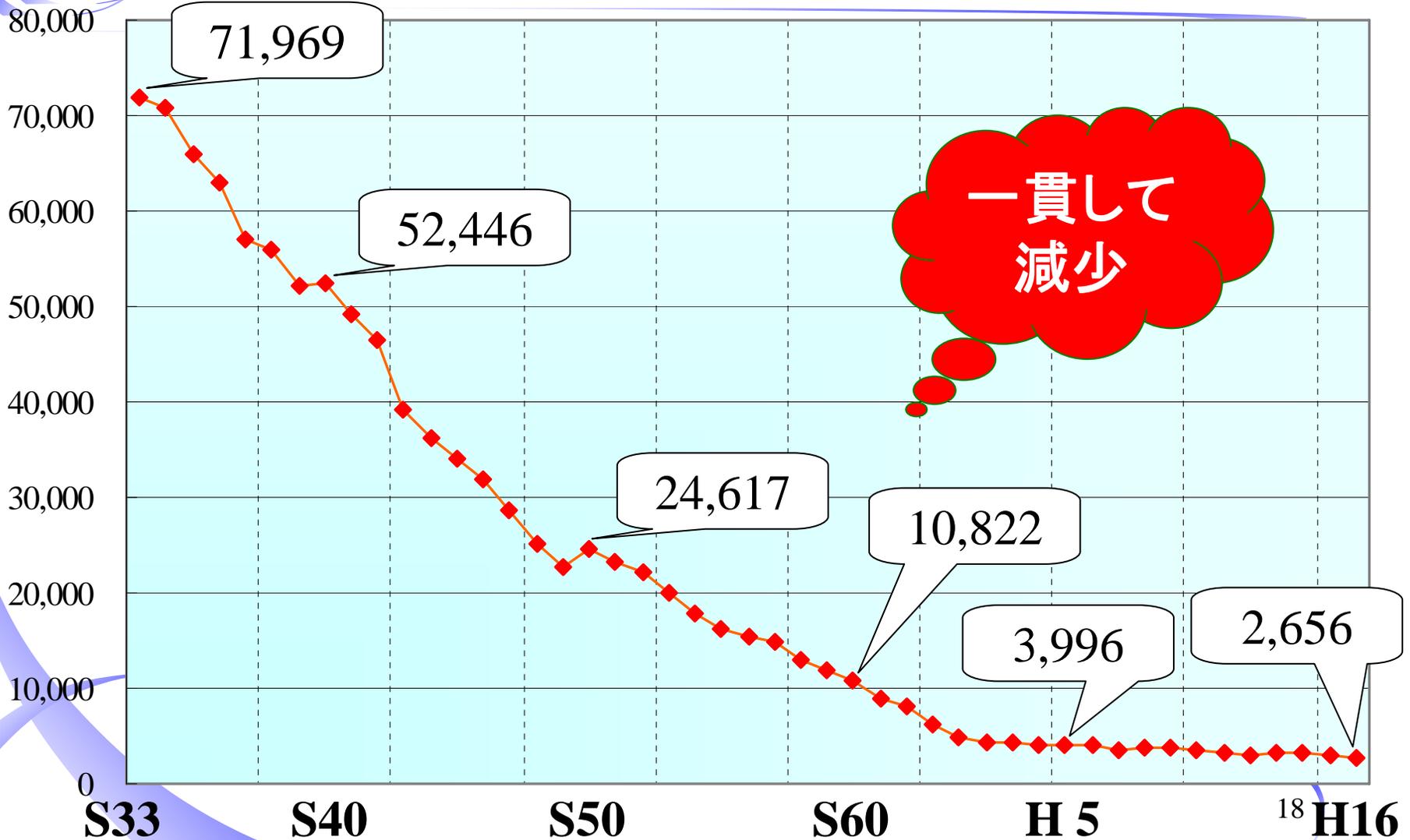
裁判所

刑事施設

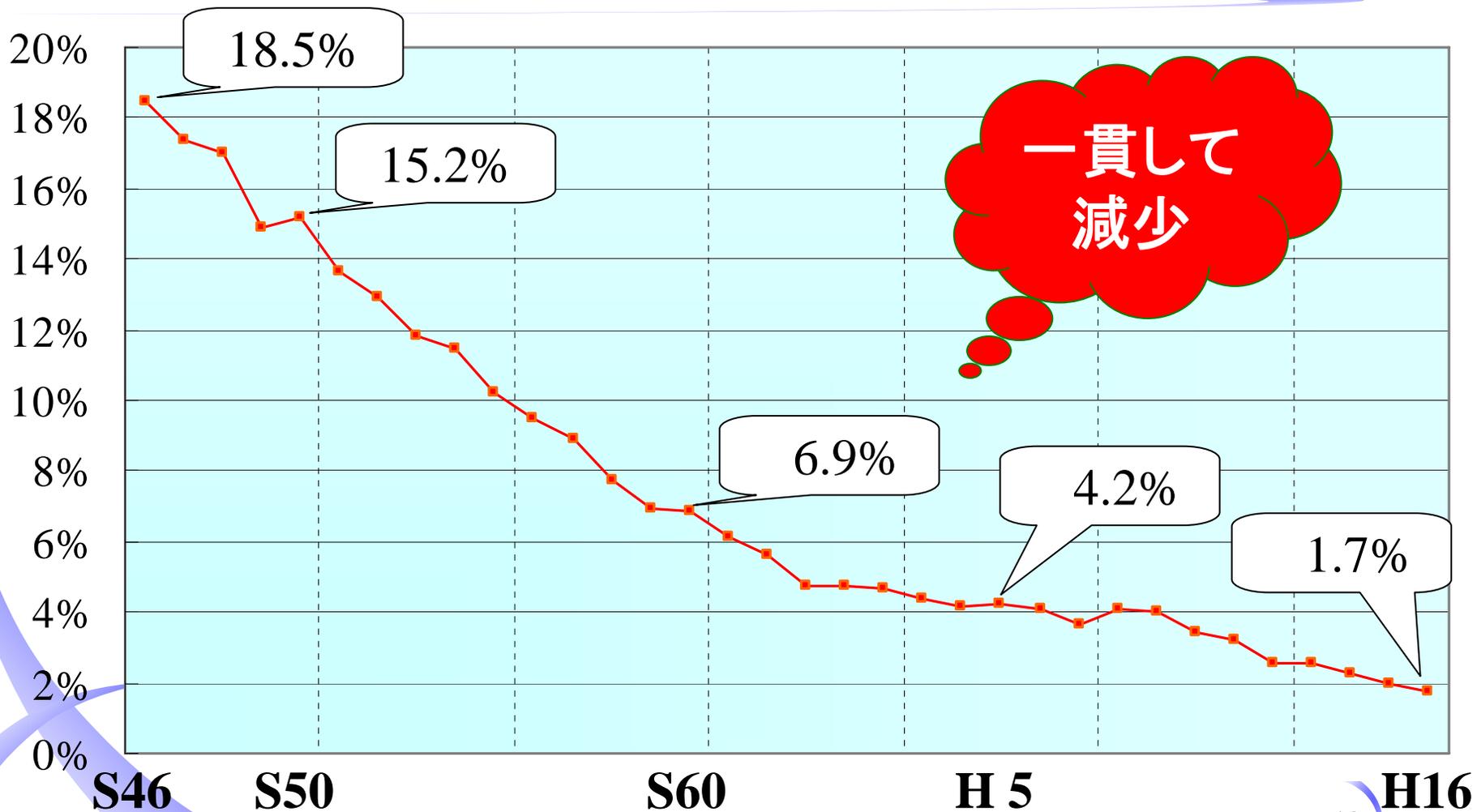
警察留置場

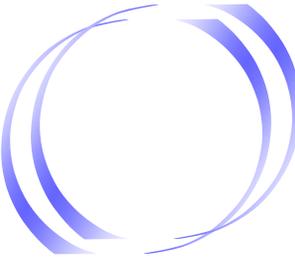
旭川管内

被疑者の身分で拘置所に入所した人員



拘置所に勾留されている被疑者の割合





代用監獄制度の在り方

- 司法判断においても、代用監獄制度が是認されている
- 代用監獄制度が占める役割の重要性は以前にも増して増加している

 **代用監獄の廃止は、非現実的**

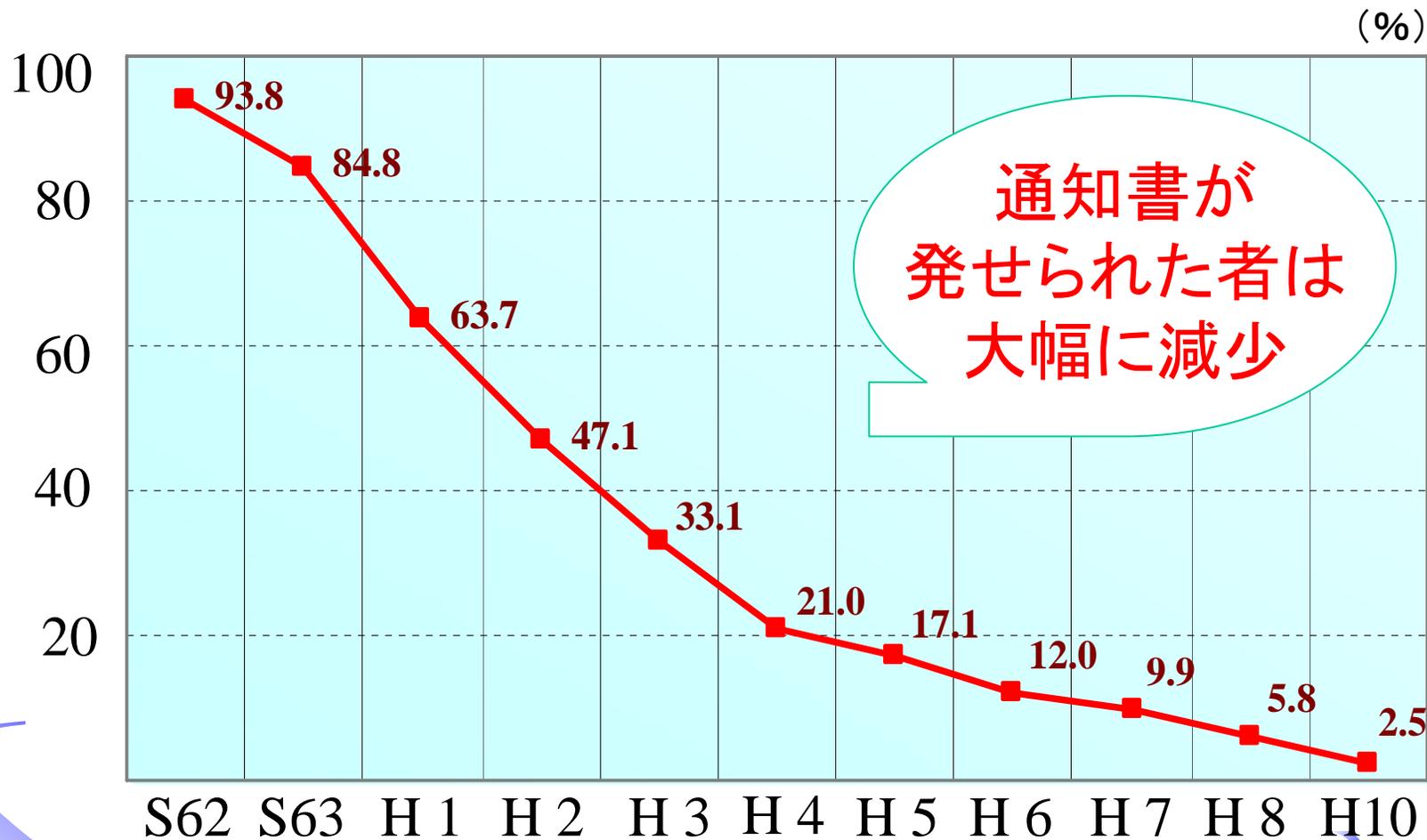


被勾留被疑者に対する弁護人の 接見状況

接見指定に関する通知書

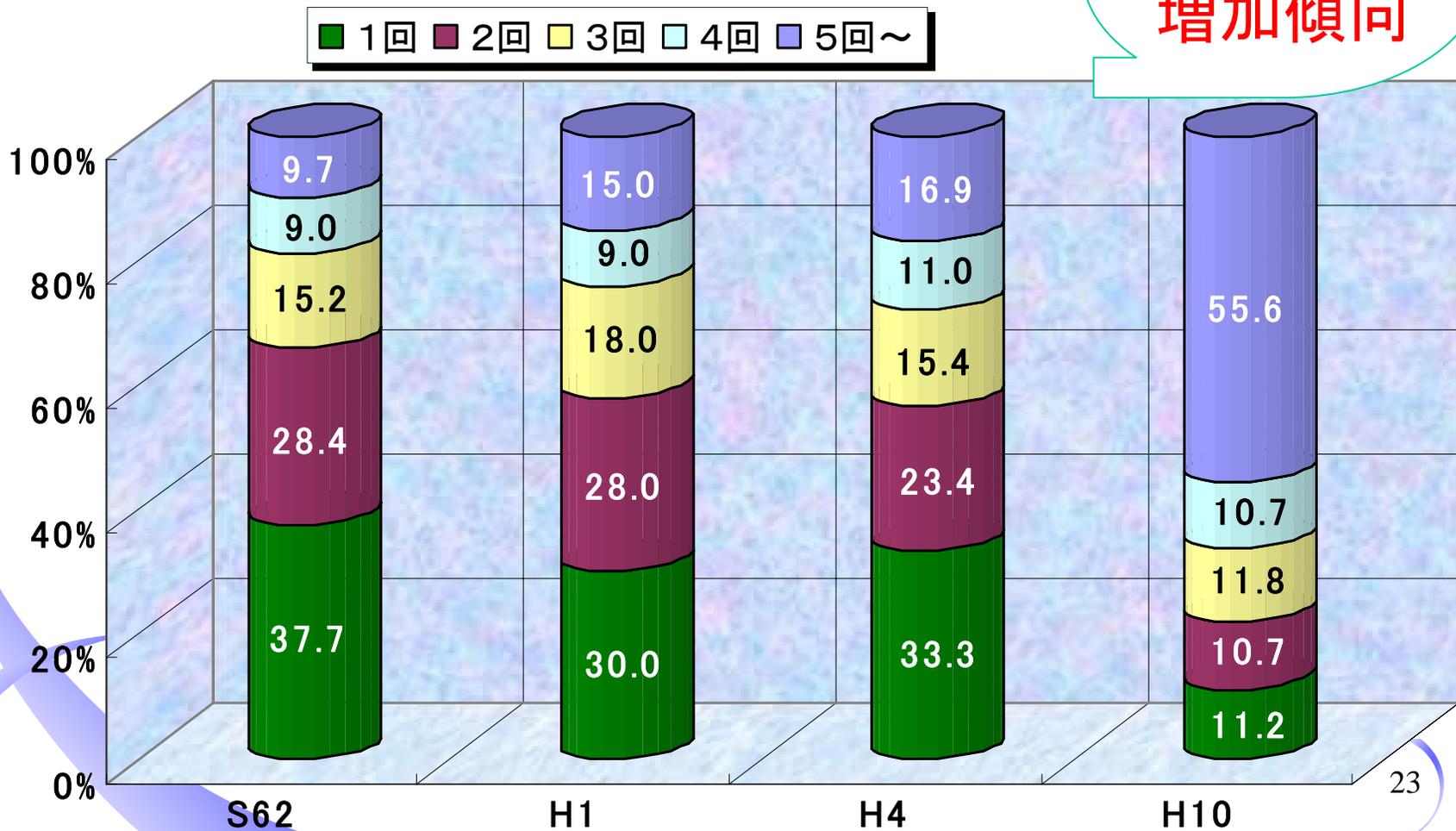
検察官が、捜査のために必要があるときに、
刑事施設の長に対して、弁護人による接見の
日時、場所及び時間を指定することがある旨
を通知するもの

接見禁止の裁判を受けた被勾留被疑者のうち、通知書が発せられた者の割合



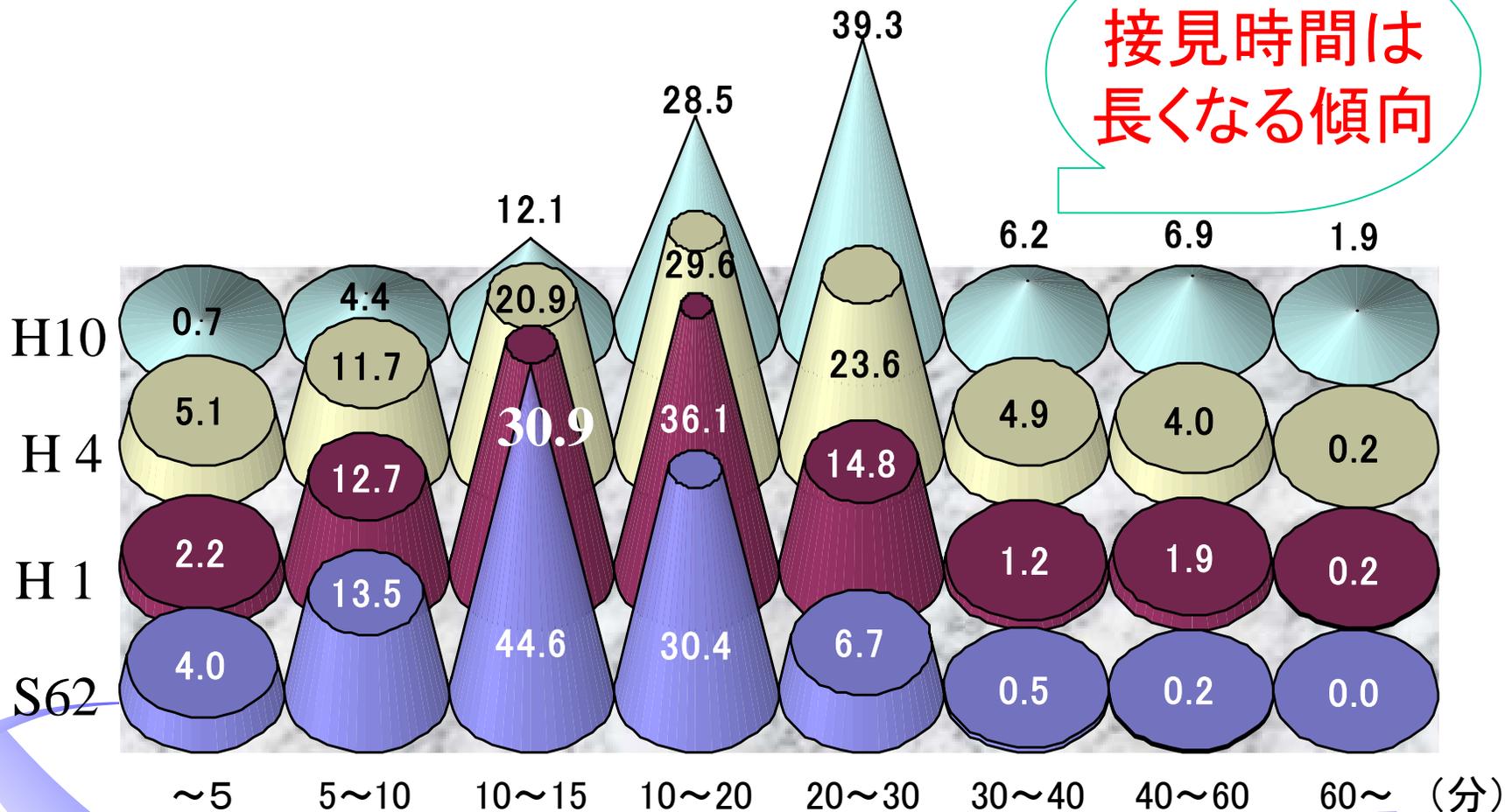
通知事件等における接見回数の構成比

接見回数は
増加傾向

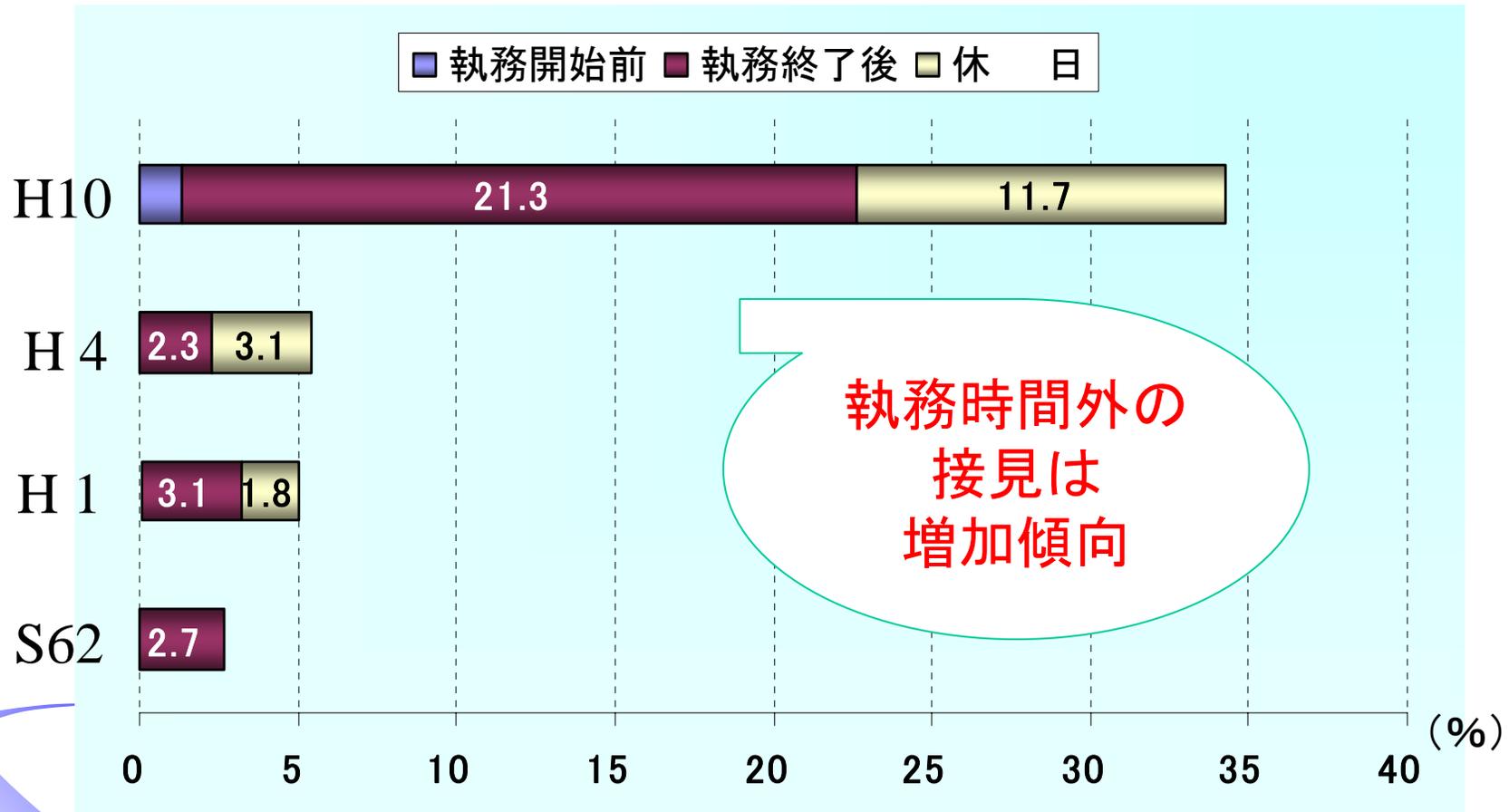


通知事件等における接見時間の構成比

接見時間は長くなる傾向



通知事件等における執務時間外の接見の構成比



外部交通の在り方

外部交通の件数(H17年9月)

1日平均収容人員 11,644人

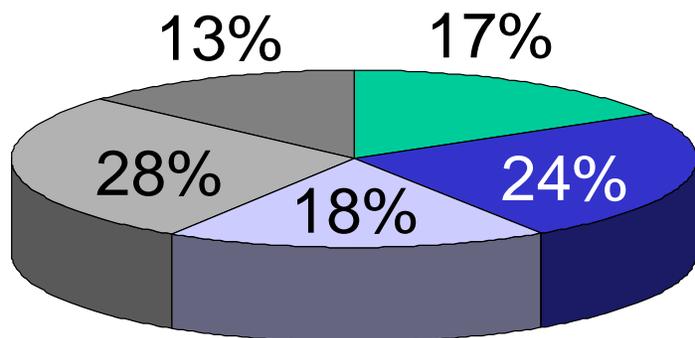
()は、休日

接見	弁護人等	一 般	合 計
	13, 693 (253)	47, 798 (0)	61, 491 (253)
信書	発 信	受 信	合 計
	143, 797 (54)	96, 088 (13, 434)	239, 885 (13, 488)

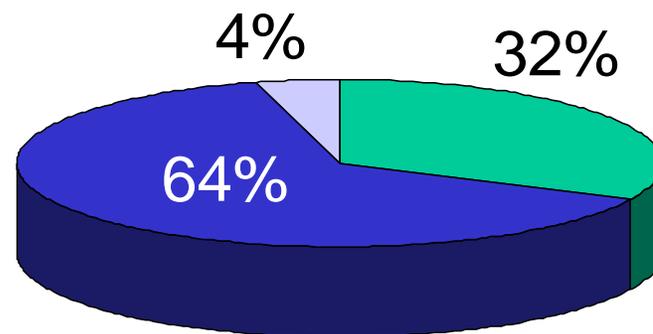
外部交通の在り方

接見時間の構成比(H17年9月)

弁護士等との接見



一般人との接見



■ 10分以内 ■ 20分以内 ■ 30分以内
■ 60分以内 ■ 60分超

外部交通の在り方

防御権を更に実質的に保障するため、外部交通の拡充は必要である

- 罪証隠滅など勾留目的を阻害する事態の防止
- 人的物的体制の制約
 - ➡ 必要性の程度も考慮しながら、可能な範囲で拡充を図るという現実的な対応が必要